

いま、市立病院では

Now, at the municipal hospital

「術後疼痛管理チーム」の紹介

みなさんは「術後疼痛管理チーム」を知っていますか。このチームは全身麻酔下で手術を受けた患者さんの、痛みや吐き気などの苦痛を緩和するための多職種医療チームのことです。市立病院では令和5年3月に麻酔科医、術後疼痛管理に関わる所定の研修を修了した専任の看護師、薬剤師、臨床工学技士により構成されてチームが発足し、術後患者さんの安楽と早期回復を目指して活動しています。

従来、手術後の疼痛には主治医が中心となって対応し、痛みのプロフェッショナルである麻酔科医は主治医から相談を受けてから対応するという関わり方でした。また実際に病棟で薬剤を投与するのは病棟看護師が中心で、副作用などの懸念から控えめな投与になる傾向がありました。しかし、チームが発足してからは麻酔科医、看護師、薬剤師、臨床工学技士がチームとなり、多職種で多角的に患者さんの痛みや吐き気の評価を行い、必要時には積極的に介入することで、より質の高い医療が提供できるようになりました。また医療安全の観点から、チーム内はもちろん主治医や病棟看護師とも積極的にコミュニケーションを図り、情報共有するようにしています。さらに病棟看護師を対象とした勉強会を定期的実施しています。現在、チーム回診の対象となるのは全身麻酔下での手術後に硬膜外麻酔による鎮痛を行なっている患者さんと、静脈内に持続的に鎮痛薬を投与している患者さんのみですが、それ以外の患者さんや病棟スタッフからの質問や相談にも、その都度対応しています。

「手術を受けたから痛いのは当たり前」ではありません。「薬はあまり使わない方が良い」でもありません。我慢せずに鎮痛薬や制吐薬を適切に使用し、手術後いかに早く起き上がるか、が早期回復のポイントです。ほんの少しでも、術後の痛みや吐き気などに関して不安や悩みがある人は、気軽に病棟スタッフへ問い合わせてください。私たち「術後疼痛管理チーム」が適切に対応します。



術後疼痛管理チーム
特定看護師／手術関連専門臨床工学技士 浅田 淳

新任医師の紹介（1月より勤務）

整形外科 尾崎 裕亮

これまで骨折などの一般外傷疾患や関節リウマチ、様々な関節炎の診療に従事してきました。内科、麻酔科、放射線科などの様々な先生方と協力しながら当地域の整形外科・関節炎治療が当院で完結し、地域の患者さん、地域の先生方、当院職員の満足度が向上するように務めてまいります。

腎臓内科 増永 真奈

これまで奈良県立医科大学附属病院腎臓内科で幅広く様々な腎臓内科の疾患を診療してきました。当地域における腎臓治療が当院で完結し、患者様や先生方、職員の方々の満足度が向上するよう務めてまいります。

市立病院 (☎53-2901)